

# DIAMバランス・インカム・オープン（毎月分配型）

追加型投信／内外／資産複合

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じ、実質的に外国債券および国内株式を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年2月9日～2022年8月8日

第184期	決算日：2022年3月8日	
第185期	決算日：2022年4月8日	
第186期	決算日：2022年5月9日	
第187期	決算日：2022年6月8日	
第188期	決算日：2022年7月8日	
第189期	決算日：2022年8月8日	
第189期末 (2022年8月8日)	基準価額	8,801円
	純資産総額	161百万円
第184期～ 第189期	騰落率	5.6%
	分配金合計	45円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △(白三角) はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

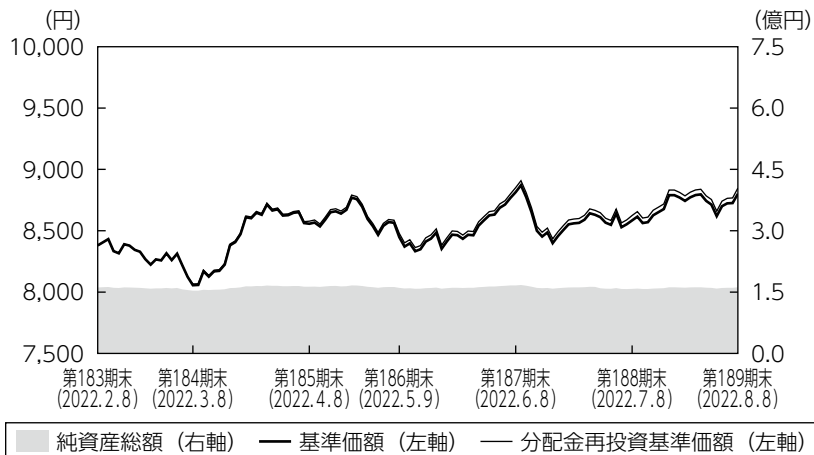
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



第184期首：8,380円  
 第189期末：8,801円  
 (既払分配金45円)  
 騰落率：5.6%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

インフレ懸念や主要国の金融政策の早期正常化観測等から長期金利が上昇（債券価格は下落）したことがマイナスに寄与しました。一方、海外主要国が金融政策の正常化を進める一方で日銀が金利上昇を抑制する姿勢を明確に示したことで国内外の金融政策の方向性の違いが意識されたことや内外金利差の拡大等を背景に主要通貨に対して円安が進んだこと、為替の円安を背景に国内株式が底堅い推移となったことがプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
高金利ソブリン・マザーファンド	6.8%
インデックス225 マザーファンド	4.7%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第184期～第189期 (2022年2月9日 ～2022年8月8日)		項目の概要
	金額	比率	
	(a) 信託報酬	49円	
(投信会社)	(23)	(0.272)	
(販売会社)	(23)	(0.272)	
(受託会社)	( 2)	(0.027)	
(b) 売買委託手数料	0	0.000	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 0)	(0.000)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.000)	
(c) その他費用	2	0.026	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	( 2)	(0.026)	
(監査費用)	( 0)	(0.000)	
(その他)	( 0)	(0.000)	
合計	51	0.598	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

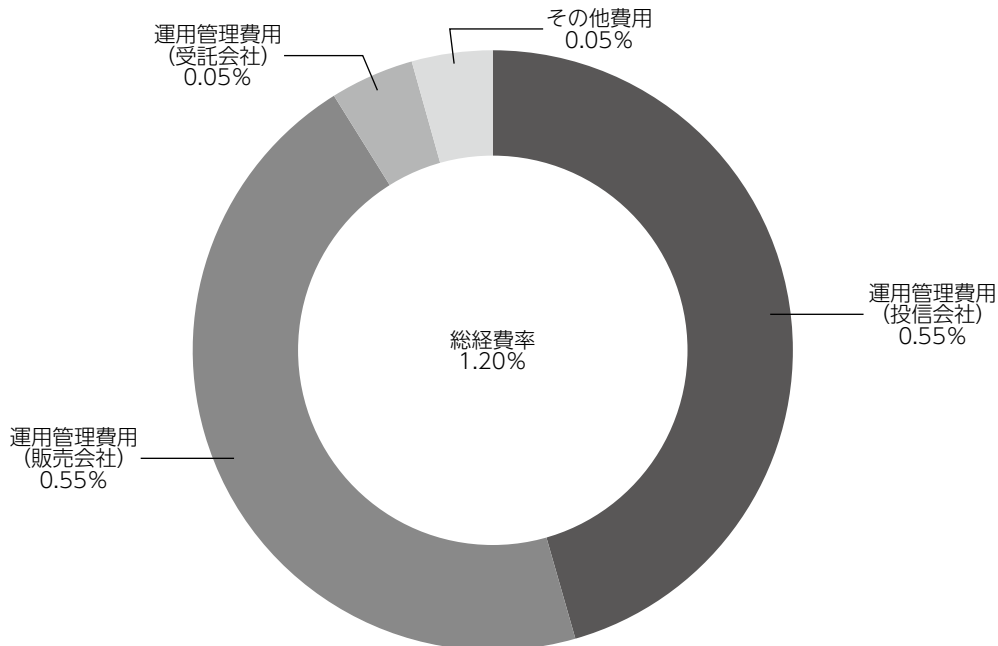
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

**（参考情報）**

## ◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.20%です。



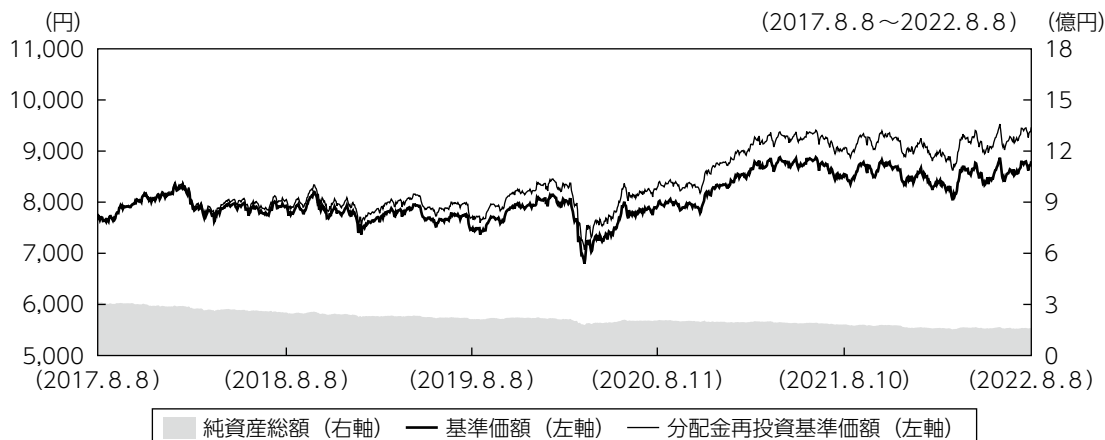
（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2017年8月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2017年8月8日 期首	2018年8月8日 決算日	2019年8月8日 決算日	2020年8月11日 決算日	2021年8月10日 決算日	2022年8月8日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	7,769	7,930	7,467	7,915	8,509	8,801
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	120	120	120	120	105
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	3.6	△4.4	7.7	9.0	4.7
純資産総額	(百万円)	317	252	213	205	181	161

- (注) 当ファンドのコンセプトは、リスク分散を図りながら、国内の株式市場全体と特定の高金利国のエクスポージャーの取得をめざしたものです。前記のコンセプトに適った一般に公表された指数が存在しないため、また当ファンド全体で特定の指数等を意識した運用を行うものではないことから、当ファンドではベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

## 投資環境

外国債券市場では、投資国の国債利回りが上昇（価格は下落）しました。当作成期はインフレの高進から主要国および投資国の中央銀行が利上げを実施または進める見通しであることを背景に、作成期初から2022年6月中旬にかけて投資国の債券利回りは上昇基調が続きました。しかしその後は、世界各国でインフレが一段と強まる中、中央銀行による積極的な利上げから景気後退が意識されたことで利回りは低下（価格は上昇）に転じ、作成期初からの上昇幅を縮めました。

国内株式市場は上昇しました。作成期初、米国における金融引き締めへの警戒感の高まりやロシアのウクライナ侵攻などを受け、下落してスタートしましたが、その後、円安米ドル高が進行したことなどから戻りを試す展開となりました。2022年4月以降は、インフレ加速により欧米主要国が金融引き締め姿勢を強める一方で、円安米ドル高が加速したことから、国内株は一進一退の展開となりました。

為替市場では主要通貨に対して円安の動きとなりました。ドル/円相場は、米国が金融政策の正常化を進める一方で日銀が金利上昇を抑制する姿勢を明確に示したことで日米の金融政策の方向性の違いが意識されたことや米国の金利が大きく上昇し内外金利差が拡大したこと等を材料に、円安ドル高の動きとなりました。その他の主要通貨においても、金融政策の方向性の違いが意識されたことや内外金利差の拡大等を背景に円安現地通貨高となりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

高金利ソブリン・マザーファンド70%、インデックス225 マザーファンド30%を基本配分比率とし、概ねこの割合となるよう、各マザーファンドの組入れを行いました。

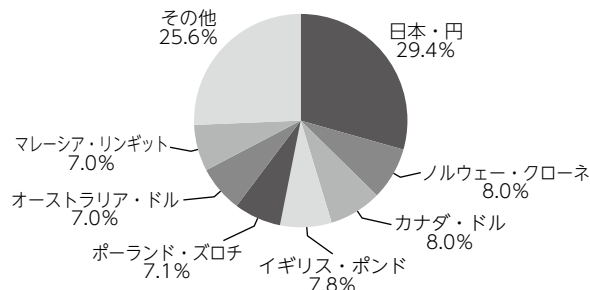
### ●高金利ソブリン・マザーファンド

当作成期前半はウクライナ情勢の緊迫化などから隣国のポーランドやノルウェーなど欧州圏の配分を引き下げた運用を行いました。その後、戦線が一段と拡大するリスクは後退したことなどを背景にポーランドへの配分を段階的に中立とし、エネルギー資源の高止まりの想定からノルウェーやカナダなどの配分を引き上げました。また、相対的な金利水準などからタイへの配分を引き下げました。

### ●インデックス225 マザーファンド

日経平均株価に連動する投資成果を目標に運用を行いました。日経平均株価に採用されている個別銘柄の比率と同程度となるように投資を行いました。また、現物株式と株価指数先物を合わせた実質的な株式の組入比率を高位に維持することにより、日経平均株価との連動性維持に努めました。なお、日経平均株価採用銘柄の入れ替え等にも適宜対応しました。

## ○通貨別構成比



(注1) 比率は当ファンドが実質的に投資している有価証券評価額に対する割合です。

(注2) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

## ■分配金

当作成期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、以下の表の通りとさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第184期	第185期	第186期	第187期	第188期	第189期
	2022年2月9日 ～2022年3月8日	2022年3月9日 ～2022年4月8日	2022年4月9日 ～2022年5月9日	2022年5月10日 ～2022年6月8日	2022年6月9日 ～2022年7月8日	2022年7月9日 ～2022年8月8日
当期分配金（税引前）	10円	10円	10円	5円	5円	5円
対基準価額比率	0.12%	0.12%	0.12%	0.06%	0.06%	0.06%
当期の収益	1円	10円	0円	5円	4円	5円
当期の収益以外	8円	-円	9円	-円	0円	-円
翌期繰越分配対象額	191円	210円	201円	207円	207円	211円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

外国債券および国内株式に分散投資する商品性の観点から、今後も各資産の基本配分比率を維持するよう、各マザーファンドへの投資を実施します。マザーファンドの組入比率につきましては、高位組入れを維持します。

### ●高金利ソブリン・マザーファンド

インフレが高止まりする中、主要国および投資国の中央銀行は金融引き締めを継続すると見られます。こうした中、インフレ動向と金融引き締めに伴う景気減速や後退のリスク、地政学的リスクなどが債券・為替市場の変動要因となると予想します。今後も一定の信用格付以上を有する国の中から、為替市場の流動性、投資規制、市場規模等を勘案し、相対的に金利の高い通貨を選定し、各国の財政状況やファンダメンタルズ、インフレリスクを注視した運用を継続します。

### ●インデックス225 マザーファンド

今後の運用につきましても、財務リスク等を考慮しつつ、日経平均株価に採用されている個別銘柄の比率と同程度となるように投資を行い、また、現物株式と株価指数先物を合わせた実質的な株式の組入比率を高位に維持することにより、日経平均株価に連動する投資成果をめざします。

## お知らせ

■当ファンドが主要投資対象とする「インデックス225 マザーファンド」の約款において主要投資対象を「わが国の株式」から「わが国の金融商品取引所上場株式のうち、日経平均株価（225種・東証）に採用されている（または採用予定の）銘柄」に変更しました。また、日経225銘柄への投資に当たっては「東京証券取引所第一部に上場されている株式のうち、原則として、日経平均株価（225種・東証）に採用された銘柄の中から200銘柄以上に等株数投資」から「わが国の金融商品取引所上場株式のうち、原則として、日経平均株価（225種・東証）に採用された銘柄の中から200銘柄以上に同指数における個別銘柄の比率と同程度となるように投資」に変更しました。

なお、上記約款変更は東京証券取引所の市場区分の再編と日経平均株価の算出要領の改訂に伴うもので商品としての同一性が失われるものではありません。

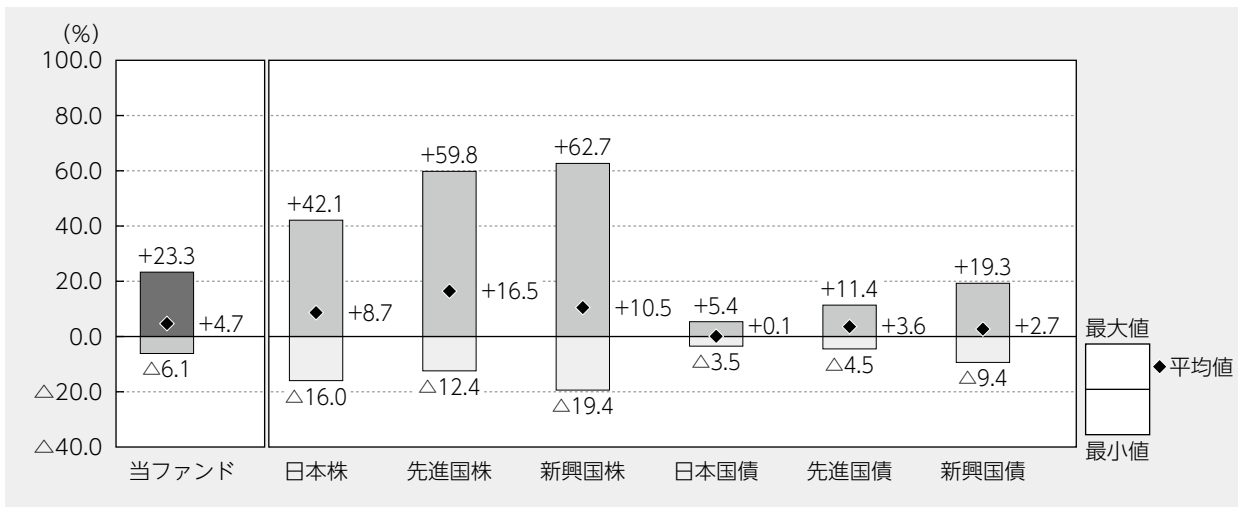
（2022年2月9日）



## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2006年9月28日から無期限です。	
運用方針	実質的に外国債券および国内株式を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の長期的な成長を図ることを目標として運用を行います。	
主要投資対象	DIAMバランス・インカム・オープン（毎月分配型）	高金利ソブリン・マザーファンド受益証券およびインデックス225 マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	高金利ソブリン・マザーファンド	高金利国のソブリン債券を主要投資対象とします。
	インデックス225 マザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式のうち、日経平均株価（225種・東証）に採用されている（または採用予定の）銘柄を主要投資対象とします。
運用方法	DIAMバランス・インカム・オープン（毎月分配型）	各マザーファンド受益証券への投資に当たっては、委託会社が独自に定める基本配分比率に従い配分するものとします。基本配分比率は、市場動向等を勘案し、変更する場合があります。
	高金利ソブリン・マザーファンド	景気・金利・為替動向、財政・金融政策を中心としたファンダメンタルズ分析に基づき、投資対象銘柄の発行規模やポートフォリオの地域分散を考慮した上で、主として高金利国のソブリン債に投資し、収益を追求します。なお、組入対象国および国別配分は特に限定しません。
	インデックス225 マザーファンド	日経平均株価（225種・東証）の動きに連動する投資成果をめざした運用を行います。株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。株価指数先物取引等を利用する場合があります。株式以外の資産への投資は、原則として投資信託財産総額の50%以下とします。
分配方針	決算日（原則として毎月8日。休業日の場合は翌営業日。）に経費控除後の利子、配当等収益および売買益（評価益を含む。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないことがあります。	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2017年8月～2022年7月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

## \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2022年8月8日現在）

#### ◆組入ファンド等

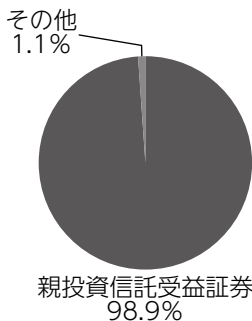
（組入ファンド数：2ファンド）

	第189期末
	2022年8月8日
高金利ソブリン・マザーファンド	69.8%
インデックス225 マザーファンド	29.1
その他	1.1

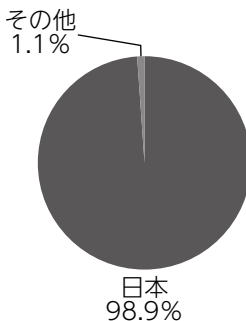
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

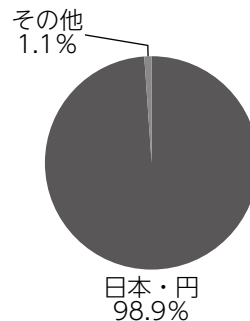
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### 純資産等

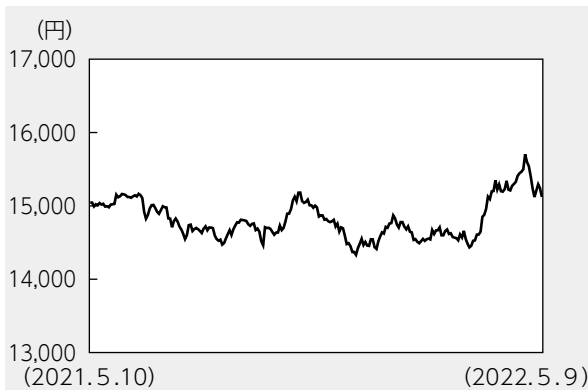
項目	第184期末	第185期末	第186期末	第187期末	第188期末	第189期末
	2022年3月8日	2022年4月8日	2022年5月9日	2022年6月8日	2022年7月8日	2022年8月8日
純資産総額	153,586,553円	163,153,234円	160,169,740円	166,270,701円	157,910,527円	161,820,427円
受益権総口数	190,640,760口	190,655,926口	189,605,361口	188,616,897口	183,949,975口	183,866,119口
1万口当たり基準価額	8,056円	8,557円	8,448円	8,815円	8,584円	8,801円

（注）当作成期間（第184期～第189期）中における追加設定元本額は84,164円、同解約元本額は8,733,940円です。

## 組入ファンドの概要

【高金利ソブリン・マザーファンド】（計算期間 2021年5月11日～2022年5月9日）

## ◆基準価額の推移



## ◆組入上位10銘柄

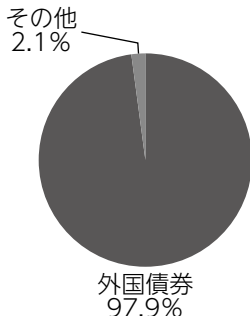
銘柄名	通貨	比率
AUSTRALIAN 0.5 09/21/26	オーストラリア・ドル	8.8%
UK TREASURY 4.25 12/07/27	イギリス・ポンド	6.4
US T N/B 0.375 01/31/26	アメリカ・ドル	5.9
CANADA 1.0 06/01/27	カナダ・ドル	5.8
MALAYSIA 3.906 07/15/26	マレーシア・リンギット	5.7
NEW ZEALAND 4.5 04/15/27	ニュージーランド・ドル	5.7
THAILAND 2.125 12/17/26	タイ・バーツ	5.1
NORWAY 1.5 02/19/26	ノルウェー・クローネ	5.1
SINGAPORE 2.625 05/01/28	シンガポール・ドル	4.6
POLAND 2.5 07/25/26	ポーランド・ズロチ	4.5
組入銘柄数	24銘柄	

## ◆1万口当たりの費用明細

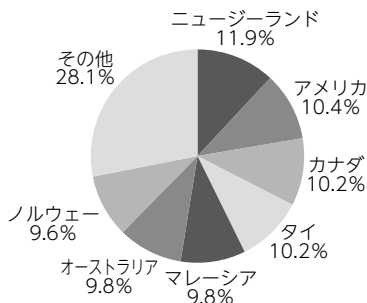
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	9円 (9) (0)	0.060% (0.060) (0.000)
合計	9	0.060

期中の平均基準価額は14,821円です。

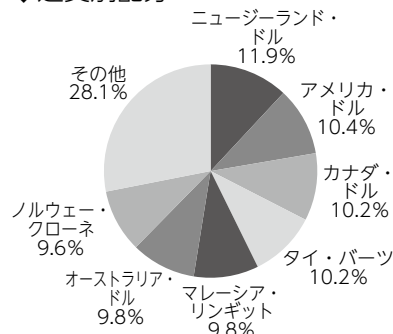
## ◆資産別配分



## ◆国別配分



## ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

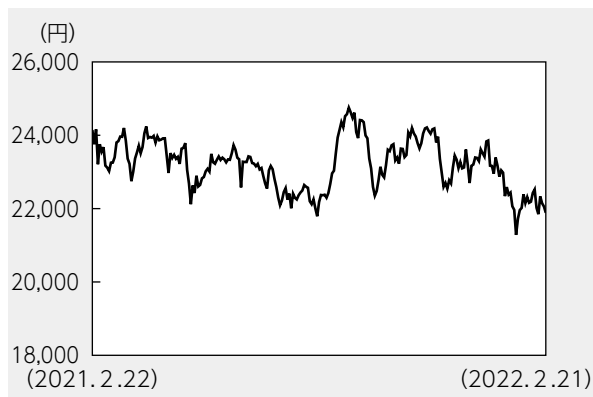
(注6) 国別配分は発行国（地域）を表示しています。

(注7) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【インデックス225 マザーファンド】（計算期間 2021年2月23日～2022年2月21日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
ファーストリテイリング	日本・円	8.3%
東京エレクトロン	日本・円	7.1
ソフトバンクグループ	日本・円	4.0
KDDI	日本・円	2.9
ファナック	日本・円	2.8
ダイキン工業	日本・円	2.8
アドバンテスト	日本・円	2.4
信越化学工業	日本・円	2.3
テルモ	日本・円	1.9
TDK	日本・円	1.8
組入銘柄数	225銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

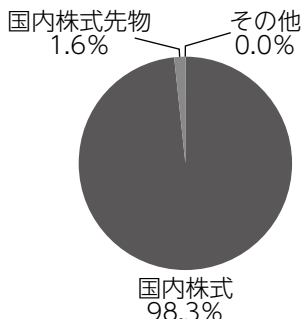
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	1円	0.004%
(株式)	(0)	(0.001)
(先物・オプション)	(1)	(0.002)
合計	1	0.004

期中の平均基準価額は23,188円です。

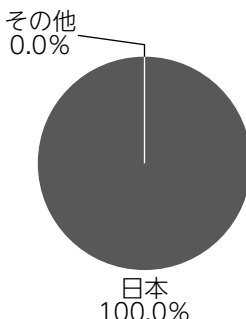
◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	比率	
	売買	買建
日経平均		1.6%
組入銘柄数	1銘柄	

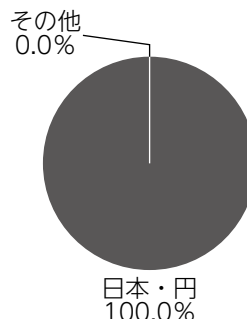
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。
- (注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。
- (注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

